



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

**合言葉は「話せばわかる！」**

## ★今回の道徳の授業のねらい

相手と互いに理解し合って、自分と違う意見も大切にできる態度を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

外国からの転入生であるトムの掃除に対する取り組みについて話し合うことを通して、ぼくをはじめとするクラスの人々とトムが互いの思いや立場を理解し合い、クラスの結束を深めていくお話です。掃除をしないトムに不満をもち、率直に問いただすぼく。自分のいた学校には掃除がなく、どうして掃除をしなければいけないのかわからないと説明するトム。担任教師の口癖である「話せばわかる！」を合い言葉に、互いに自分の意見を言い合い、立場を理解しながら、新たな解決策を見出していくお話です。

## ★子どもたちの授業で感じたことや振り返り

- ・むかついてしまうと、つい、強く言ってしまうけど、これからは、言い方に気を付け、人の話をしっかり聞いて、分かり合うことを大切にしていきたいです。
- ・これからは自分の意見や考えを相手に伝えたいと思いました。悩んでいる友達がいたら助けたいです。
- ・このお話の合言葉のように、私たちのクラスの合言葉も「話せばわかる！」にしたいなと思いました。けんかがおきても話し合い、これからは、相手の気持ちを考えて言葉を発したいです。
- ・これからは、学校でも家でもどこでも、しっかりと話し合って、自分の思っていること・意見を伝える、他人の意見もしっかり聞くことが大切だと思いました。
- ・けんかになりそうになったら、言い方を優しくすれば、友達も話してくれるし、分かり合えると分かりました。

## ★家庭で話し合ってもらいたいこと

4年生は、自分と友達の考え方や感じ方などの違いへの理解力はだんだんと高まってきますが、その違いを受け入れられずに友達と感情的な対立が生じることが多い時期でもあります。

自分の考えと友達の考えが違うときや、自分の主張と家族の主張が違うとき、「自分の方が正しいのに！」と怒ったり嘆いたりするのではなく、「なぜ、自分と相手の考えは違うのだろう」と考えることが大切です。相手の行動や言葉の裏にどんな思いがあるのか想像し、柔軟に受け入れる力とともに、自分の思いや考えをしっかりと相手に伝える勇気をもってほしいと思います。